



スペシャル・シチュエーション - いつになく広がる投資機会



アダム・フィリップス
マネージング・ディレクター
スペシャル・シチュエーション
運用チーム責任者

2023年11月

スペシャル・シチュエーション戦略のアプローチと中堅企業市場で魅力的な投資機会が広がっている背景について語ります。

スペシャル・シチュエーションという選択肢

企業は、経済サイクルやセクター特有のストレス、業績不振、目前に迫る債務の満期、多額の債務などの多くの要因を背景として信用ストレスに直面しています。しかし、今日の市場環境では、債務の借り換えをすることはもはや容易ではなく、また、金利が高水準で推移するなかで債務の返済はより困難となりつつあります。債務の借り換えで状況を打開することが困難な企業に対しては、デストレス投資家が唯一の資金調達源となり、財務ストレスに直面している企業に選択肢を提供しています。

我々のアプローチ

私たちのスペシャル・シチュエーション戦略は、先進国市場において、事前に想定されたイベントによって投資出口が確保できそうな個別企業の債券とローンに投資します。私たちの投資プロセスは、リスク調整後リターンの最大化を前提としています。ブルーベイのレバレッジド・ファイナンス・チームの幅広いスキルを活用することで、発行体に対する広範囲のカバレッジと、綿密な分析が可能となっています。

投資機会を見極める

私たちはボトムアップ・リサーチとファンダメンタル・クレジット分析を駆使して、適切な機会を見極めることに注力しています。私たちの投資スペシャリストは、リストラクチャリング・プロセスへの関与、そして、多くの場合においてそれを主導するためのリソースと知見を兼ね備えています。つまり、発行体がリストラクチャリングを進めていくための最初から最後まで一貫した専門的なサポートを提供することができるのです。私たちにとって、これまで長期に亘って築き上げてきた関係やネットワークは、投資案件のソーシングの差別化につながるという点で極めて重要です。そして、RBCブルーベイの広範囲に及ぶリサーチ経路、市場をリードする専門知識、トレーディングスキルが、私たちのチーム独自のソーシング・ネットワークをさらに強力なものとしています。



いつになく広範囲に投資機会がみられる

私たちは、景気拡大期であろうと縮小期であろうと、常に潜在的な投資機会があり、いかなる市場環境においてもデストレス・シチュエーションが生じうると考えています。とは言え、企業は足元でいくつもの困難に直面しており、投資機会はいつになく広範囲のセクター及び国にみられるようになりました。我々の潜在的投資案件のウォッチリストの対象数は、2年前と比較すると5倍近くに増えており、300を超える銘柄が複数のセクターや国に存在するようになりました。アナリストが正しく行動するには、規律とプロセスをもってそのリストを管理することが重要となります。さらに、このような投資機会は今後数年に及ぶと考えられます。

欧州中堅企業市場

我々は売上高30-500百万ユーロの企業を広義の中堅企業セクターとして定義しています。同セクターにおいてここ最近、投資機会が著しく増加しています。中堅企業は大企業の同業他社と比較してショックに対する耐性が低いと考えています。世界的に見ても欧州はストレス及びデストレス投資の中心地となると思われます。そのような中で、欧州の中堅企業は事業分散が図られておらず、耐性が低く、資本市場へのアクセスも十分ではないでしょう。そうした背景を踏まえて、我々は欧州中堅企業市場への投資を選好しています。この領域は、多くの投資機会があると同時に、規模が大きい投資ファンドは大資本の企業を投資対象とする傾向があることから、そうしたファンドとの競合が少ない点も、選好する理由となっています。

期待が高まる将来

スペシャル・シチュエーション・クレジットのアプローチを探している投資家にとって、欧州中堅企業市場は、魅力的なリスク調整後リターンの可能性を秘めた投資機会が数多く存在していることを強調したいと思います。このような投資機会は今後長期に亘るものであり、私たちのような戦略に投資を行うには十分な根拠が揃っているように思われます。

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略					オルタナティブ戦略		
(年率、税抜き)					(年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	エマージング債	レバレッジド・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータル・リターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上

